

2002.1.16 比較現代日本論研究演習 II

第 12 回「重回帰分析(3)」(田中重人)

1. 表に書くべき事項
2. 余裕があれば書くべき事項
3. 試験とレポートについて

【表に書くべき事項】

- ※ パラメタの推定値（回帰係数および定数）
- ※ 標準誤差
- t 検定の結果（推定値に * などをつける）
- 標準回帰係数
- 決定係数と F 検定の結果（* など）
- ケース数

※ 説明変数の単位に特に意味がなければ省略してよい

【表の例】

表 1 階層帰属意識の重回帰分析

説明変数	係数	(標準誤差)	β
(定数)	6.787**	(0.570)	—
性別	0.032	(0.203)	0.011
満年齢	0.002	(0.007)	0.015
家族収入	-0.117**	(0.029)	-0.279

$R^2=0.079^{**}$ 。 $N=238$ 。

目的変数：階層帰属の主観的評価 (10 段階, 逆転)

** : 1%水準で有意。* : 5%水準で有意。

無印 : 5%水準で非有意。 β : 標準偏回帰係数。

★ 小数第 2 位か第 3 位まで

★ 小数点をそろえる

【余裕があれば書くべき事項】

- (1) 説明変数・目的変数の記述統計量
(平均・SD・欠損ケース数・尖度・歪度)
- (2) 相関係数行列

【試験】

来週 (1/23) 試験をおこないます。

すでに配布済みの論文について、内容を理解できているかどうかを問うものです。

★何でも持ち込み可。

★各自、論文をよく読んでおくこと。

★田中のところに事前に論文の内容について質問にくることは禁じます。

【レポート】

締切：2/8 (金曜) 12:00

提出先：田中のレターケース、
または直接手渡し

課題：因子分析・回帰分析をおこなって、その結果を表にまとめ、コメントを書く。

- ★一連の分析にしても、別々の分析でもかまいません
- ★必要な事項が表に盛り込んでいるか、適切に解釈してコメントを付けているかを基準に評価します
- ★事前の相談可